

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学VI		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年生		学期及び曜時限	後期 金 6・7	教室名	803
担 当 教 員	鈴鹿 久彰	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>人体の正常構造を学ぶ上で基本となる解剖学用語について説明し、部位ごとに説明します。 成績は、最終試験(60%)、複数回の小テスト(20%)、スケッチ等のレポート課題(20%)の合計です。 後期の後半の授業です。欠席は1/3未満(=4回まで)。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>期末試験 : 60% 小テスト : 20% レポート : 20%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>・標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 参考資料:適宜配布するプリント類、骨標本</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>授業のはじめに前回の講義内容に関する復習テストを行うので、理解度テストをベースに、配布資料・テキストの対応する箇所を通読して知識を定着させるようにしてください。また、授業で扱った骨指標・関節・筋については自分で体を動かしながら、構造と機能の対応を理解するようにしてください。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>人体の解剖学(正常な構造と機能)は、作業療法を学ぶ上で、最も重要な基礎となる部分です。取り扱う内容は多いですが、より実践的な科目に活用ができるよう、立体的なイメージと動きを意識し、人体の合理性を理解することを目指します。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚器がどのような構造を持ち、外界の刺激を受容しているかについて説明できる。	教科書	テキストP327-338通読	
		各コマにおける授業予定	感覚器			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	上部消化器の構造・機能について説明できる。	教科書	テキストP371-376通読	
		各コマにおける授業予定	消化器系Ⅰ(口腔～胃)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	下部消化器の構造・機能について説明できる。	教科書	テキストP376-379通読	
		各コマにおける授業予定	消化器系Ⅱ(十二指腸～直腸)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	肝胆膵の構造・機能について説明できる。	教科書	テキストP379-383通読	
		各コマにおける授業予定	消化器系Ⅲ(肝胆膵)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の構造と、体循環・肺循環について説明できる。	教科書	テキストP339-343通読	
		各コマにおける授業予定	循環器系Ⅰ(心臓の構造と大血管の循環)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の機能と、拍動のリズムを作る仕組みについて説明できる。	教科書	テキストP343-345通読
		各コマにおける授業予定	循環器系Ⅱ(心臓の刺激伝導系)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	動脈・静脈の機能および全身の主な血管の走行を説明できる。	教科書	テキストP346-359通読
		各コマにおける授業予定	循環器系Ⅲ(動脈と静脈)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	リンパの機能とリンパ管の構造・走行を説明できる。	教科書	テキストP359-362通読
		各コマにおける授業予定	リンパ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	気管・肺の構造・機能について説明できる。	教科書	テキストP384-391通読
		各コマにおける授業予定	呼吸器系		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	視床下部・下垂体の構造・機能について説明できる。	教科書	テキストP406-410通読
		各コマにおける授業予定	内分泌系Ⅰ(中枢)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢の内分泌腺の構造・機能、およびホルモンの連関について説明できる。	教科書	テキストP406-410通読
		各コマにおける授業予定	内分泌系Ⅱ(末梢)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	泌尿器の構造と機能について説明できる。	教科書	テキストP392-398通読
		各コマにおける授業予定	泌尿器系		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	男女の泌尿器の構造と機能について説明できる。	教科書	テキストP399-405通読
		各コマにおける授業予定	生殖器系		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの解剖学の講義を踏まえ、人体がどのように発生するのか概要を理解する。	教科書	テキストP19～26通読
		各コマにおける授業予定	人体の発生		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業全体を通じた内容を連関させるとともに、対応する国試範囲の出題傾向について把握する。	教科書	配布する国試対策問題集について、出題箇所について配布資料・教科書を振り返り、同種の問題に対応できるようにする
		各コマにおける授業予定	総復習・国家試験演習		